

ボンネット一体型ニードル・バルブ パッキン交換手順説明書

(0 シリーズ / 1 シリーズ / 18 シリーズ / 20 シリーズ / 26 シリーズ)

キット内容:

ステム・パッキン 潤滑剤 手順説明書 スプリング 化学物質安全性データ・シート (MSDS)

取り外し方法 (図をご参照ください)

1. ご使用システムからバルブへの圧力供給を遮断し、バルブから圧力を開放します。
2. パッキン・ナットをバルブ・ボディから緩めます。
3. ハンドルを用いて、ステムをバルブ・ボディから取り外します。
4. 止めネジを緩めてハンドルを取り外します。止めネジおよびハンドルは再組み立ての際に必要となりますので、別途保管しておいてください。
5. パッキン・ナットを取り外します。パッキン・ナットは再組み立ての際に必要となりますので、別途保管しておいてください。
6. スプリング、グラント、パッキンをステムから取り外します。パッキンおよびスプリングは廃棄します (再取り付けの際には、キットに含まれている未使用のスプリングおよびパッキンを使用します)。
7. 残りの部品のクリーニングを入念に行います。

再取り付け方法 (図をご参照ください)

8. ステム・ネジおよびステム・シャンクに、キットに含まれている潤滑剤を塗布します。PEEK 製パッキンを使用したバルブの場合、パッキンにも潤滑剤を塗布します。すべての金属製ステム・チップ (図をご参照ください) に潤滑剤を塗布します。ソフト・シート型ステム・チップには、潤滑剤を塗布する必要はありません。
9. ステムをバルブ・ボディに再度ねじ込みます。
10. 下部グラントおよび未使用のパッキンをステム上にスライドさせて取り付けます。下部グラントは、ステムにしっかり取り付けられた状態になります。パッキンの正しい向きにつきましては、図をご参照ください。
11. パッキン・グラントをステム上にスライドさせて押し下げ、パッキンをバルブ・ボディにしっかり取り付けます。
12. スプリングをステム上にスライドさせて取り付けます。各バルブ・シリーズにおける正しい向きにつきましては、図をご参照ください。
13. 0 シリーズ / 1 シリーズ (パッキン・ナットの六角部サイズ: 5/8 インチ) / 20 シリーズの場合、グラントをステム上にスライドさせて取り付けます。その際、グラントはステムに緩く取り付けられた状態となります。1 シリーズ (パッキン・ナットの六角部サイズ: 7/8 インチ) / 18 シリーズ / 26 シリーズの場合、スプリング上部にグラントは使用しません。
14. ボディ・ボンネットの外側ねじ部の上から 2 ~ 3 山に、キットに含まれている潤滑剤を塗布します。
15. パッキン・ナットをバルブ・ボディにねじ込み、指締めします。
16. ハンドルをステムにセットします。止めネジとステム側面にある溝の位置を合わせます。止めネジを締め付けます。
17. バルブを全閉状態にし、ステムを反時計回りに 2 ~ 3 回転させてから、パッキン・ナットを締め付けます。
18. パッキン・ナットを締め付ける際のトルク値については、該当する下の表をご参照ください。

トルク値 (0 シリーズ / 1 シリーズ / 18 シリーズ)

バルブ材質	パッキン・ナットの六角部サイズ		トルク値 (N·m)
	インチ	mm	
ステンレス鋼	9/16	14.3	2.8
	5/8	15.9	6.8
	7/8	22.2	14.1
	1 1/8	28.6	33.9
真ちゅう / 炭素鋼	9/16	14.3	1.7
	5/8	15.9	3.4
	7/8	22.2	6.8
	1 1/8	28.6	17.0
合金 400	9/16	14.3	2.8
	5/8	15.9	3.4
	7/8	22.2	11.3

トルク値 (20 シリーズ / 26 シリーズ)

バルブ・シリーズ	トルク値 (N·m)
20	3.4
26	14.1

この日本語版取り扱い説明書は、英語版取り扱い説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないよう、細心の注意を払っておりますが、万一相違が生じた場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。

www.swagelok.co.jp

Swagelok — TM Swagelok Company
©1994, 1997, 1999, 2000 Swagelok Company

